

弘前市立博物館 ニュースレター

No. 6

令和5年11月号

Hiroaki City Museum Newsletter

■「THE新版画」展にお越しくだ さり、ありがとうございました。

弘前はすっかり雪景色になりました。先日、当館を支援して下さる、後援会の皆さんと、視察で市内の最勝院にでかけたところ、吹雪になり、まるで川瀬巴水の絵の世界のようでした。

さて、10月7日(土)から開催されていた特別企画展2「THE新版画～版元・渡邊庄三郎の挑戦～」が、26日(日)で閉幕しました。たくさんのお客様にご来館いただき、入館者数は6000人を超えました。大変ありがとうございました。

次回展覧会は「博物館に初詣！」です。某博物館と展覧会のタイトルがかぶってしまいましたが、内容はがらりと違うようです。津軽の一代様や、弘前の名絵師、小田桐岩蔵や阿部義夫の描いた屏絵など、郷土色豊かな展覧会にご期待ください！

(館長 熊谷)

■特別企画展2「THE新版画～版元・渡邊庄三郎の挑戦～」閉幕

ここ数年間のうちに、当館では「歌川国芳」、「月岡芳年」、「歌川広重」など浮世絵木版画をテーマにした展覧会を開いてきました。それにつづく今回の展覧会で紹介した「新版画」

は、江戸時代の浮世絵木版画から引き継がれた伝統技術に新たな創意工夫を重ねて生み出された、大正から昭和30年代までに一大ブームとなった、全く新しい木版画作品です。

風景画の川瀬巴水、美人画の伊東深水らをはじめとした総勢約150点もの作品の数々は、その一つ一つが浮世絵よりもさらに精緻さを増した見ごたえのあるものばかりで、観覧者のみなさんからは「これが本当に版画なの？」など感動の声が多数寄せられました。

また、ロビーにて上映した川瀬巴水の生涯を紹介する短編映画「版画に生きる」を熱心に視聴するお客様も多く、時間をかけてゆっくりと展覧会を楽しんでいらっしゃる様子が見受けられました。

そして、今展覧会で初めて登場した、多色摺りスタンプ体験コーナーも人気を集め、子供さんだけでなく大人の皆さんも“新版画の疑似体験”を楽しんでおられました。



▲スタンプを楽しむ子どもたち

開催期間中に行われた渡邊木版美術画舗 渡邊社長によるギャラリートークや、現役の摺師さんによる摺りの実演にもたくさんのお客様にご参加いただきました。担当した学芸員として、多くの方にご観覧いただいたこと、さらに会期を通してご好評をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

(「THE新版画」担当学芸員 三國)



▲関連イベント「摺り実演」のようす
(解説:渡邊社長、実演:渡辺摺師)

■ひろさき卍学の講座にでかけました

ひろさき卍学は、地域や弘前を題材とした学びを通して、郷土への愛着や誇りをもち、郷土について発信しようとする人材を育てるとともに、将来の夢や志をもち、社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現していこうとする態度を育てるための教育だそうです。各学校では、りんごの栽培や

ねぶた絵制作、こぎん刺し体験などをはじめ、弘前の「ひと・もの・こと」に関する様々な学習を行っています。

11月15日(水)にうかがった第四中学校での卍学では、「津軽家三代の歴史」と題して、弘前藩の礎を築いた津軽為信やその息子たちのお話をさせていただきました。学芸員としての仕事の内容についても、聞きながら熱心に聞いてもらい、こちらも嬉しかったです。

(主査兼学芸員 小田桐)

■「博物館に初詣！」へむけて

まもなくの12月9日(土)から企画展3「博物館に初詣！」が開催予定です。内容は「当館収蔵資料を中心に『えと』や『こよみ』にかかわるもの、あるいは津軽一代様の紹介などを行う展示」となります。

本展では「おめでたい年末年始をより一層楽しんでいただきたい！」という意図を込めて展示や広報物、関連企画を組んでいます。

今回第一に注目いただきたいのは、添付したポスターです！このポスターのデザインは業者さんと相談した上で決定・発注していますが、津軽凧や引札などカラフルな資料の色合いを生かしつつ、縁起の良いお正月らしい雰囲気にとまりました。デザインが上がった時点で職員の間でも大好評でした。

この原稿を作成している今現在はまさに展示替え作業中で、このポスターに負けない縁起の良い・楽しい展示を作れるよう鋭意努力中です。

年末年始は、ぜひ博物館へ初詣！皆様のお越しをお待ちしております。
(「博物館に初詣！」担当学芸員 工藤)



▲「博物館に初詣！」のポスター

■「THE 新版画」撤収、「博物館に初詣！」準備佳境です！〈前編〉

出勤途中に、お隣の市民会館の警備員さんから「博物館、休みじゃないの？」と聞かれました。でも、実は展示替えの休館中が(肉体労働的な意味でも)一番忙しいのです…。

休館に入るとすぐに、展覧会の撤収作業が始まります。今回は特別企画展なので、業者さんが撤収作業を進めていきます。企画展の場合は、職員総出での大仕事になります。

その後、額を展示するために、ガラスの展示ケース前に吊り下げているボードを一枚ずつ取り外します。厚手で重量級のボード取り外しには男性職員が大活躍。久しぶりに、ガラスの固定ケースが顔を出しました。

それから、展示作業が始まります。「博物館に初詣！」の間は、常設展が1年以上ぶりに、歴史展示室・共

用展示室を全面使用しての展示になります。常設展示も、機会を見て少しずつ更新したり、資料を入れ替えたりしています。今回は、こぎんと津軽塗のコーナーを増設しました。

次の展覧会「博物館に初詣！」の展示作業については、後編にて。

(主査兼学芸員 小田桐)

■博物館で消防訓練が行われました

11月30日に博物館で職員総出による消防訓練を行いました。博物館には大事な収蔵資料を保管する収蔵庫があるので、火災時の対応を確認することはとても重要です。また、開館時には多くのお客様が来館されているので、火災時の迅速な避難誘導が求められます。

反省会では、「実際に火災が起きた際には、訓練以上のことはできない」などの意見が出され、日頃の訓練が非常に重要だと感じました。

(主事 児玉)

■Fb&インスタ！～11月編～

株式会社金入さんから、当館マスコットの猪形土製品もラインナップされた「AOMORI JOMON アクリルスタンドカップセルトイ」が発売されました。

(主事 児玉)



▲「猪形土製品」アクリルスタンド